

地域・社会との共生

基本的な考え方

日本製紙グループは社会の一員として社会全体の発展に貢献したいと考えています。必要とされる製品の供給を続けるとともに、地球環境の保護、文化や地域社会の発展にも役立ちたい— そのための活動を積み重ねていくことが、社会から信頼を得て、地域と共生しながら事業活動を続けていくことにつながります。

→理念と基本方針

<https://www.nipponpapergroup.com/csr/policies/>

推進体制

日本製紙の各工場およびグループ各社では、社会貢献活動の担当者がそれぞれの地域との共生を深める活動を継続して実施しています。当社CSR本部は、工場・グループ会社と連携し、社会貢献活動の実施状況を把握するとともに、当社の取締役会に報告しています。

また、当社ではボランティア休暇を設け、従業員の自主的なボランティア活動への参加を制度面で支援しています。

— 具体的な活動テーマ

- グループ各社の工場および海外現地法人における地域活動の充実
- グループの専門性や資源を活かした活動の推進
- 従業員が主体となって取り組む社会貢献活動の推進
- 日本国内の社有林（約9万ヘクタール）の有効活用
- 社内外への積極的な広報活動

